

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 12 月 28 日(2022.12.28)

【公開番号】特開 2021-69442(P2021-69442A)

【公開日】令和 3 年 5 月 6 日(2021.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2021-021

【出願番号】特願 2019-196134(P2019-196134)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 661

A 63 F 5/04 611A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 20 日(2022.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前記可変表示部の変動表示を開始させる開始操作手段と、

前記開始操作手段の操作に基づき、導出を許容する表示結果を決定する事前決定手段と、

前記導出操作手段の操作態様を特定可能な報知を行う報知手段と、

導出された表示結果に基づいて入賞が発生したか否かの入賞判定を行う入賞判定手段と、 30

表示結果を導出させるための導出操作手段の操作を受け付ける導出操作受付手段と、

前記入賞判定に用いられる入賞判定用表示結果を導出させる通常導出制御を行う通常導出制御手段と、

前記入賞判定に用いられない仮表示結果を導出させる特定導出制御を行う特定導出制御手段と、

前記導出操作手段の操作態様を特定可能な報知を行う報知手段と、

通常区間と有利区間のうちのいずれかに制御する区間制御手段と、

前記有利区間において、遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、
を備え、

前記通常導出制御手段は、前記開始操作手段が操作された後、前記導出操作手段の操作
が受け付けられたとき、当該導出操作手段の操作に応じて前記入賞判定用表示結果を導出
する前記通常導出制御を行い、 40

前記特定導出制御手段は、前記開始操作手段が操作された後、前記通常導出制御が行わ
れるまでの間に、前記導出操作手段の操作が受け付けられたとき、当該導出操作手段の操
作に応じて前記仮表示結果を導出する前記特定導出制御を行い、

前記特定導出制御手段は、前記特定導出制御により前記仮表示結果を導出したときに、
該仮表示結果を微振動状態とし、

前記報知手段は、

前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果となり、前記通常導出制御および前記特定
導出制御が行われるときに、前記導出操作手段の操作態様を特定可能な特定報知を行うこ 50

とが可能であり、

前記特定導出制御により前記仮表示結果が導出されるまでの特定導出制御期間中は前記特定報知を行うことなく、前記特定導出制御期間が終了した後に前記特定報知を開始し、前記通常区間と前記有利区間とで、前記特定導出制御が行われる割合が異なる、スロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0004】

このようなスロットマシンとして、所定期間にわたりゲームを進行させるための操作が無効化されるフリーズ状態に制御可能であって、フリーズ状態中にストップスイッチの操作に基づきリールを停止させる制御を行うものがあつた（たとえば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0005】

【特許文献 1】特開 2014 - 233423 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述したスロットマシンにおいては、フリーズ状態中にストップスイッチの操作に基づきリールを停止させるような、仮表示結果を導出させる特定導出制御を行うにあたり未だ改良の余地があつた。

30

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明は、かかる実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、仮表示結果を導出させる特定導出制御を好適に行うことのできるスロットマシンを提供することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0008】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前記可変表示部の変動表示を開始させる開始操作手段と、

前記開始操作手段の操作に基づき、導出を許容する表示結果を決定する事前決定手段と、

前記導出操作手段の操作態様を特定可能な報知を行う報知手段と、

50

導出された表示結果に基づいて入賞が発生したか否かの入賞判定を行う入賞判定手段と、
表示結果を導出させるための導出操作手段の操作を受け付ける導出操作受付手段と、
前記入賞判定に用いられる入賞判定用表示結果を導出させる通常導出制御を行う通常導出制御手段と、
前記入賞判定に用いられない仮表示結果を導出させる特定導出制御を行う特定導出制御手段と、
前記導出操作手段の操作態様を特定可能な報知を行う報知手段と、
通常区間と有利区間のうちのいずれかに制御する区間制御手段と、
前記有利区間において、遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、
を備え、
前記通常導出制御手段は、前記開始操作手段が操作された後、前記導出操作手段の操作を受け付けられたとき、当該導出操作手段の操作に応じて前記入賞判定用表示結果を導出する前記通常導出制御を行い、
前記特定導出制御手段は、前記開始操作手段が操作された後、前記通常導出制御が行われるまでの間に、前記導出操作手段の操作を受け付けられたとき、当該導出操作手段の操作に応じて前記仮表示結果を導出する前記特定導出制御を行い、
前記特定導出制御手段は、前記特定導出制御により前記仮表示結果を導出したときに、該仮表示結果を微振動状態とし、
前記報知手段は、
前記事前決定手段の決定結果が特定決定結果となり、前記通常導出制御および前記特定導出制御が行われるときに、前記導出操作手段の操作態様を特定可能な特定報知を行うことが可能であり、
前記特定導出制御により前記仮表示結果が導出されるまでの特定導出制御期間中は前記特定報知を行うことなく、前記特定導出制御期間が終了した後に前記特定報知を開始し、
前記通常区間と前記有利区間とで、前記特定導出制御が行われる割合が異なる、
スロットマシンは、以下のように構成されてもよい。
各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（たとえば、スロットマシン１）において、
表示結果を導出させるために操作される導出操作手段（たとえば、ストップスイッチ８Ｌ，８Ｃ，８Ｒ）と、
変動開始条件（たとえば、開始操作）が成立したときに、前記可変表示部の変動表示を開始させる変動表示開始手段（たとえば、メイン制御部４１によるリールの回転を開始させる処理）と、
前記変動開始条件の成立以降において計時開始条件（たとえば、開始操作）が成立してからの経過時間を計時する計時手段（たとえば、サブ制御部９１による計時処理）と、
前記導出操作手段の有効な操作を受け付ける操作受付手段（たとえば、メイン制御部４１による停止操作受付処理）と、
前記導出操作手段の操作を促す促進報知（たとえば、停止促進報知演出）を行う促進報知手段（たとえば、サブ制御部９１による停止促進報知演出を実行する処理）と、を備え、
前記操作受付手段は、前記可変表示部が正常に変動表示しているときに前記導出操作手段の操作を有効に受け付ける一方で、前記可変表示部が正常に変動表示していないときに前記導出操作手段の操作を有効に受け付けず（たとえば、図１９（ａ））、
前記計時手段は、前記可変表示部が正常に変動表示しているか否かに関わらず、前記経過時間を計時し（たとえば、図１９（ａ））、
前記促進報知手段は、前記操作受付手段によって前記導出操作手段の操作が有効に受け付けられることなく前記計時手段によって計時された前記経過時間が所定時間（たとえば、３分）になったときに、前記促進報知を行う（たとえば、図１９（ａ））。

10

20

30

40

50